学校応援プロジェクト　2026 年度活動報告
中央大学附属中学校　進路・キャリア教育学習プロジェクト

この度、中央大学と中央大学附属中学校の連携教育プログラムの一つである「なぜ大学で学ぶの？」を、2026 年度 10 月 17 日（土）に実施しました。今回のプログラムでは約 170 名の中学生を中央大学多摩キャンパスにお迎えし、主に多摩キャンパス 3 号館の施設を使って半日かけて関わることで、大学で学ぶとはどういうことか、大学に至るまでにはこれからどういった道のりをたどっていくのかといったことなどについて生徒のみなさんがイメージを形づくる、そのお手伝いをするプログラムとなっています。

当日は、１年生から 4 年生までの 40 名弱の大学生が参加してプログラムを進行しました。

プログラムは、大教室（3115）に集合した生徒のみなさんに向けて「大学ガイダンス」をおこなった後、クラスごとに分かれた各教室において初対面の大学生と中学生の距離を縮めるための「アイスブレイク」、大学生活や中高生活について直接お話をする「キャリア相談」、つづいて大学生による「特別授業」、学内をめぐる「キャンパスツアー」、という流れです。

【大学ガイダンス】



中学校の先生方からの、大学生が中学生だったときの話や中学生以降のキャリアについて話してほしいというご要望に、よりコミットできるよう、様々な学部や専攻の大学生のそれぞれの経験を話してもらう大学ガイダンスを実施しました。勉強のことや生活のことなど、中学校からの変化をガイダンスし、以降のキャリア相談がより有意義なものとなるよう、全般的な話をしてもらいました。

【アイスブレイク】

大学ガイダンスでは少数対多数で距離をとった状態でコンテンツが進みましたが、キャリア相談ではより近い距離で、中学生が直接大学生に聞きたいことを聞く時間があります。そこで、プロジェクトでは、その前に、初対面の大学生と中学生の距離を縮めるために簡単なゲームを実施しています。



今回は、間違えるとその誤差の分だけ減点されてしまう持ち点を守る、数字に関するクイズを行いました。５組まである各クラスに分かれて、中学生には６人班になってもらい、そこに大学生が１人入って協力しながら回答を考えます。

アイスブレイク中は、自作の回答サイトや正解ビデオなどに盛り上がり、ところどころトラブルはあったようですが、万端だった準備のおかげで想定を超えることはなく、親睦を深めるという目的も大いに達せられたと言えるでしょう。

【キャリア相談】

キャリア相談の時間では、中学生が大学生に直接、空きコマはどう過ごしているのか、学部はどう選んだか、勉強方法はどうしていたかなど、まだ曖昧な大学生像や高校生活、志望校の選び方についてなどを尋ねてみることができます。アイスブレイクの時間を共にした大学生ともう一人別の大学生の計２人から 15 分ずつ話を聞いていた中学生は、これからのキャリアについて大学生にいろいろな質問をしてくれました。



キャリア相談中は大学生の時間割表や実際に使っている教科書等も出てきて、中学生がふだん使っているものとはまた違ったそれらに興味を示してくれる様子もうかがえ、少しでも大学生や今後のキャリアについてイメージをもっていただけたのかな、と思っています。

【特別授業】



特別授業は、大学生による 40 分ほどの授業になります。ふだん大学で学んでいる学部や専攻にかかわる内容で授業をしてくれた大学生もいれば、そういったこととはまた別の、自身の興味関心に基づく内容の授業をしてくれた大学生もいました。

中学校での教科学習とは少し、あるいはかなり変わった授業内容や授業形態は、大学での学びの自由度の大きさや専門性の深さを生徒のみなさんに感じさせたのではないでしょうか。

【キャンパスツアー】

キャンパスツアーの時間では、アイスブレイクやキャリア相談を実施した班で学内を回ります。

今回はプログラムの時間の都合上、時間を十分に確保することが難しかったなかでしたが、天候に恵まれ、キャンパスツアーから帰ってきた中学生が、半日プログラムを共にした大学生との別れを惜しんでくれていたのが印象的でした。この日キャンパスを歩いたことが、自分が大学生になったときの一つの思い出になってくれていたら、と思います。

今回のプロジェクトに際して、使う施設が例年と違ったり、白門祭の準備期間と重なっていて思うように準備が進まなかったりと、想定どおりにはいかないことが多いなかではありましたが、それを準備する大学生全員が高いモチベーションで準備に臨んでくれたこともあり、当日は大きなトラブルなく進めることができました。

中学生のみなさんにとっても、そして大学生のみなさんにとっても、糧となることの多い一日になったことと思っています。

中央大学附属中学校３年生のみなさん、ありがとうございました！！